

横浜グリーンエクスポ（2027年国際園芸博覧会）概要



位置付け

- ・最上位の国際園芸博覧会 (A1)

※ A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会（大阪市）以来、37年ぶり

- ・国際博覧会条約に基づく国際博覧会（認定博）

※ AIPH（国際園芸家協会）承認 + BIE（博覧会国際事務局）認定

テーマ・開催意義・キーワード

- ・ テーマ：「**幸せを創る明日の風景**」
 - ・ 地球課題の解決にチャレンジし、自然資本をベースとした新たなグリーン社会の姿を世界に発信

1都3県で初 の万博	主な来場ターゲット 5千万人 (会場 3 時間圏)	公式参加目標 70カ国以上
ポストSDGs の価値発信	16のテーマ型 企業出展	全国から360 の花緑出展

正式略称：GREEN×EXPO 2027（グリーンエクスポ ニーゼロニーナナ）

開催場所：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設の一部）

開催期間・2027年3月19日～9月26日（192日間）

開催期間：2021年3月19日～3月21日
有料来場者数：1,000万人以上

開催者：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
(会長：筒井 義信<経団連会長>)

事業費

会場建設費：最大417億円(国・地方・民間各1/3)

運営費： 536億円(チケット等の運営収入)

入場券価格

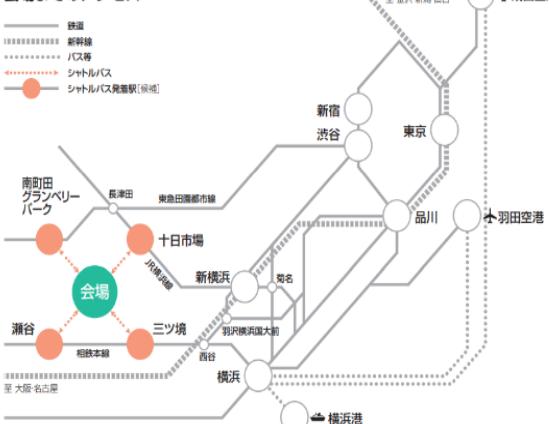
以下に加えて、通期パス、夏パス、夜間券などを用意

大人・1日券 5,500円（前売チケット 4,900円）

大人・1日券 3,500円（前売チケット 3,300円）

会場位置図

会場までのアクセス



近傍 4 駅よりシャトルバスアクセス（約10~20分）
会場隣接駐車場、パークアンドライド駐車場あり



【メインガーデン・イメージ(主催事場前)】

季節ごとの圧倒的な花と緑の中で、自然の価値を見つめ直し、グリーン社会の未来や世界中の食を体験

詳細はこちらから▶  国土交通省HP
(2027年国際園芸博覧会)

本資料も掲載(ダウンロード可)



2027年国際園芸博覧会
公式ホームページ

<https://expo2027yokohama.or.jp/>

国際園芸博覧会の位置づけ



国際博覧会

BIE「博覧会国際事務局」
登録・認定

BIE:Bureau International des Expositions

【BIE】

- ・「国際博覧会に関する条約」に基づき加盟国の拠出金によって運営されている組織
- ・184カ国で構成
- ・本部はフランス・パリ

登録博 (旧一般博)

1970
日本万国博覧会
「大阪万博」

2005
日本国際博覧会
「愛知万博」

2025
日本国際博覧会
「大阪・関西万博」

認定博 (旧特別博)

1975
沖縄国際海洋博覧会
「沖縄海洋博」

1985
国際科学技術博覧会
「つばさ科学万博」

1990 国際花と緑の博覧会
「大阪花の万博」

2027年国際園芸博覧会

国際園芸博覧会

AIPH「国際園芸家協会」
承認

※AIPH:Association Internationale des Producteurs de l'Horticulture

【AIPH】

- ・国際的レベルで園芸生産者の利益を図り、園芸技術の向上を図るために設立された非営利団体
- ・世界各国84の園芸・造園団体等により構成（日本では（一社）日本造園建設業協会が会員）
- ・事務局は英・オックスフォードシャー

種別

A1

B, C, D

開催期間

3～6ヶ月間

最低面積

50 ha

BIE認定

必要

不要

小規模化

【B】

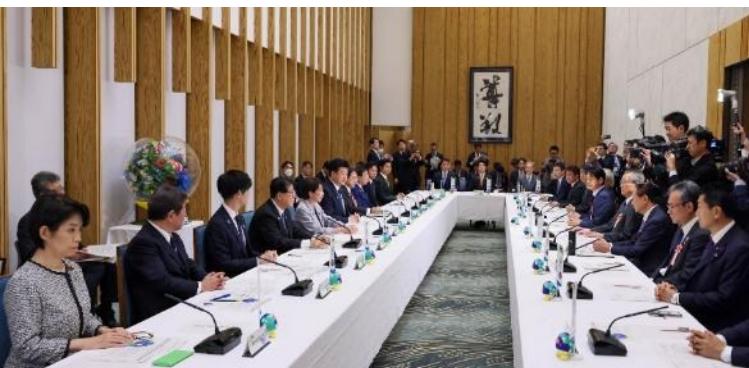
2002 淡路花博
2004 浜名湖花博

第3回2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議（令和7年12月5日開催）



●高市総理の発言概要

- 地球環境課題の解決に資する優れた国内技術を世界に発信する、絶好の機会にしたい。
例) ペロブスカイト太陽電池、世界最高レベルの完全閉鎖型の植物工場
- 政府・協会の**推進体制の抜本的強化**を表明。
 - 関係府省庁連絡会議の議長を内閣官房副長官補に格上げ強化
 - 各省庁から協会への派遣を、大阪・関西万博の経験者含め、大幅増員
 - 万博の経験をグリーンエクスポに継承する『アドバイザリーボード』の設置
- 横浜市、神奈川県、また経済界に対し、特段の協力を要請。
 - 協会への追加要員の派遣と、それぞれの組織での更なる体制の強化
 - 露出度の拡大などによる機運の醸成、展示やイベント、コンテンツの充実
 - 会員企業に対する協賛を通じた我が国の技術力の発信や入場券の販売促進についての働きかけ
- グリーンエクspoの成功に内閣を挙げ、関係閣僚、関係自治体、協会、経済界が緊密に連携し、オールジャパン体制で、博覧会を成功に導く決意を表明。



●地元自治体、経済界からの発言概要

○横浜市 山中市長

返還された米軍基地の平和的利用の象徴としてGREEN×EXPOが開催。国・協会・経済界との強固な連携の下、準備を続けたい。

○神奈川県 黒岩知事

「GREEN×EXPO 2027応援団」を結成し、県も出展の準備を進めている。神奈川県全域で盛り上げていきたい。

○日本経済団体連合会 筒井会長

経済界としても、寄附、体制強化の支援、機運醸成、入場券販売促進、協賛や会場実装等を通じた技術力の発信等、しっかりと取り組む。

○横浜商工会議所 上野会頭

全国515商工会議所、会員126万事業所のネットワークを活用し、先頭に立って機運醸成・チケットの販売促進を強力に進める。

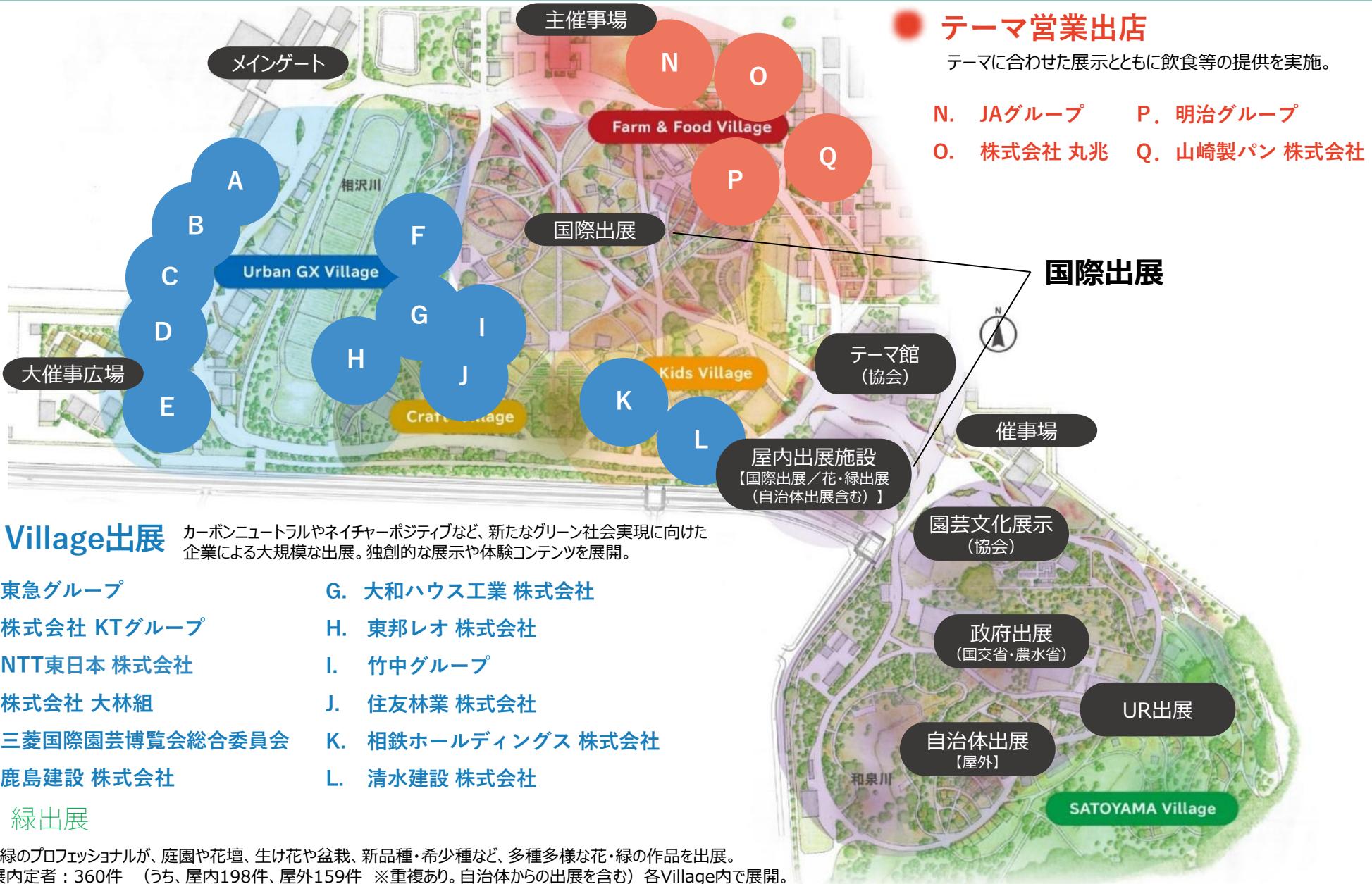
2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議（第3回）

日時：R7.12.5（金）17:15～17:30

場所：官邸2階小ホール

出席：高市内閣総理大臣、木原内閣官房長官、金子国際園芸博覧会担当大臣・国土交通大臣、鈴木農林水産大臣、赤澤経済産業大臣・国際博覧会担当大臣、茂木外務大臣、平口法務大臣、石原環境大臣、あかま内閣府特命担当大臣（防災）・国家公安委員会委員長、堀内総務副大臣、中谷財務副大臣、小林文部科学副大臣、神谷厚生労働大臣政務官、吉田防衛大臣政務官、古川復興大臣政務官

一般社団法人日本経済団体連合会・公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 筒井会長、横浜市 山中市長、神奈川県 黒岩知事、一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会・横浜商工会議所 上野会頭、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 河村事務総長
議題：入場券価格（案）、関係省庁の取組、協会の体制強化、出席者発言



出展イメージ (日本政府苑／主催者展示／Village出展)

■日本政府苑（国土交通省・農林水産省による出展）



里山の景と調和した建築

「日本の自然観を再考し、未来へ進む」というコンセプトの下、
 ・日本に受け継がれてきた自然観や、文化・芸術、里山の風景を表現
 ・日本で育まれた知恵が環境・社会課題の解決の糸口となることを提示



令和日本の庭



宮内庁所蔵の盆栽の展示

■Village出展（概要公表済のもの）

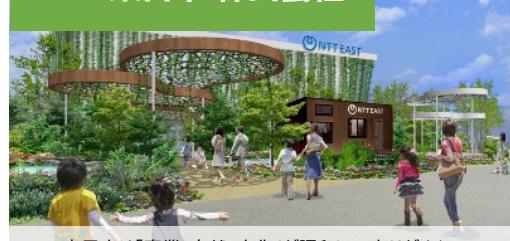
KTグループ



KTグループ

必要な時に必要な場所へ「くるまたち」が「エネルギー」を運び、皆さまを笑顔にします。

NTT東日本 株式会社



NTT東日本

NTT東日本は「産業・自然・文化」が調和し、幸せがめぐる“Well-beingな社会”を体験型で表現いたします。

鹿島建設 株式会社

KAJIMA TREE



提供：鹿島建設株式会社

竹中グループ



©竹中工務店

三菱国際園芸博覧会総合委員会

©三菱国際園芸博覧会総合委員会



幸せな明日に向けて、「自然と人、社会との共生」の重要性を楽しみながら再確認して、みんなで取り組むきっかけに繋がるような展示を目指します！

住友林業 株式会社



「複数の空間をつなぐ2階デッキスペース」

住友林業株式会社

1691年の創業以来、森や木、植物と歩んできた住友林業ならではの展示・体験を提供します。

■主催者展示（グリーンエクスポ協会による出展）

テーマ館



「全ての生命はつながっている。植物を中心に」をテーマに、植物たちの知られざる能力と、生命同士の複雑で巧妙なつながりを「映像技術＆研究結果」×「アート＆エンターテイメント」の掛け算により、感動とともに届けていく。

園芸文化展示



江戸時代に発展した園芸文化を「知り・感じ・未来へとつなぐ」をコンセプトとした施設。江戸の植木屋・花屋敷の再現空間や日本と海外の園芸植物のつながりに関する映像シアター、伝統的園芸植物の生体展示など、日本の園芸文化を楽しみながら体感。

東邦レオ 株式会社



© Yuko Nagayama & Associates / TOHO-LEO Co.

モノの国を「STUDIO」として再生します。循環から生まれる新しい体験を感じてください。

参加メニュー

多彩な参加方法をご用意しております。ぜひ御参加ください。

協賛

展示や出展への協賛

協会展示協賛（テーマ館・展示園）/ Village協賛

施設協賛・運営協賛

社会実験 / 植物・現物・役務等の提供

広報協賛

タイアップ / 媒体等の提供

催事協賛

協会主催催事協賛

イベント・運営参加

営業参加

場内輸送・モビリティ運営
観覧施設運営

催事参加

一般催事参加 / テーマ催事参加

海外出展協力

その他の参加

寄付金

人材支援

来場参加

ライセンス商品の 製造・販売

※本資料は以下のページからダウンロードできます

国交省 園芸博 概要 で検索

https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen Tk_000089.html

こちらから▶



【問い合わせ先】

国土交通省 都市局 参事官（国際園芸博担当）付

03-5253-8134

hqt-sanjikan-expo2027[at]gxb.mlit.go.jp
045-222-0027 (代表)
info[at]expo2027yokohama.or.jp

(公社) 2027年国際園芸博覧会協会